

豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.53)

1. 豊田PCB廃棄物処理施設の運転状況について

豊田PCB廃棄物処理施設(豊田施設)の8月の処理実績は、下表のとおりです。

8月は、下旬から9月上旬まで夏期定期点検を実施しているため、いつもの月に比べて受入台数、抜油解体台数ともに控えています(定期点検については裏面参照)。

運転状況の紹介として、車載型トランスの受入状況と鉄心の写真を掲載しました。鉄心は有価物として再利用されています。

20年8月の操業実績

| 種 別 | 受入台数 | 抜油・解体台数 |
|--------|-------|---------|
| コンデンサ類 | 292 台 | 203 台 |
| トランス類 | 大 型 | 1 台 |
| | 小 型 | 24 台 |
| | 車 載 型 | 1 台 |
| 廃PCB等 | 0 個 | 0 個 |

※ 受入後、一時保管してから計画的に処理ラインに投入するため、受入台数と抜油・解体台数に差が生じます。



受入室に密閉容器ごと受け入れた車載型トランス



解体、洗浄されたトランスの鉄心

2. PCB廃棄物の9月の受入計画

20年9月の受入計画(予定)

| 種 別 | 受入台数 | |
|--------|-------|-----|
| コンデンサ類 | 206 台 | |
| トランス類 | 大 型 | 2 台 |
| | 小 型 | 9 台 |
| | 車 載 型 | 1 台 |
| 廃PCB等 | 4 個 | |

9月のPCB廃棄物の受入計画は、左表のとおりです。

コンデンサ類は、少量保管事業者(保管台数が20台未満の事業者)を中心に、豊田市内の事業者から30台、愛知県内から172台、静岡県内から4台を受け入れる予定です。

大型・小型トランス類は、愛知県内から2台、静岡県内から9台、車載型トランスは静岡県内から1台を受け入れ、ドラム缶に入っているPCB油(廃PCB等)は、愛知県内から4個を受け入れる予定です。

3. 少量保管事業者に対する説明会の開催

弊社では、処理対象であるPCB廃棄物(トランス、コンデンサ等)の少量保管事業者の方々を対象に、各地で『PCB廃棄物処理説明会』を開催しています。



説明会の様子(春日井市会場)

①7月30日には瀬戸市・尾張旭市、②同31日には春日井市、③8月5日には豊明市・日進市・長久手町・東郷町・三好町の方々を対象に、それぞれ説明会を実施しました。

説明会では、弊社から平成21年1~2月の重点搬入期間に向けて、受入予定時期、契約手続き、少量保管事業者間の積み合わせ運搬等の説明を行いました。

ご多忙のなかにもかかわらず、弊社からご案内した保管事業者の方々から約8割ものご出席がありました。

| 区 分 | 上記① | 上記② | 上記③ | 合 計 |
|------|-----|-----|-----|-----|
| ご出席数 | 52 | 58 | 50 | 160 |
| ご案内数 | 65 | 76 | 55 | 196 |

4. 夏期定期点検の実施

豊田施設では、定期点検を年3回(春・夏・冬)行っています。今年の夏期定期点検は8月25日から開始しており、9月10日まで行う予定です。

定期点検を行うにあたり、まず点検開始1週間前(18日)に、弊社と点検業者全社(下請け業者を含めて16社)を一堂に会して『災害防止協議会』を開き、①点検期間中の安全作業・安全対策の徹底と共通認識 ②点検実施状況の報告と周知の実施 等について、お互いに確認しました。

25日から点検に入り、①解体設備、②洗浄設備、③排気処理設備、④液処理設備(無害化処理設備)等を対象に、設備の安全性・健全性を確認しています。

また点検期間中には、豊田施設が今後も安全確実で、安定したPCB処理を維持できるよう、設備の修繕や排気処理設備の活性炭交換等も行っています。

点検終了後は、順々に施設を立ち上げて、安全に操業できることを確認してから9月中旬に操業を再開します。



災害防止協議会の様子



洗浄設備(減容圧縮機)の点検状況



排気処理設備の活性炭交換の準備作業

5. 総合防災訓練の実施

7月29日、豊田施設において今年2度目の総合防災訓練を実施しました。

今回は施設4階において火災が発生したという想定のもと、①消火・避難・通報等各対応の陣頭指揮を行う「現場指揮訓練」②火災現場での初期消火を行う「初期消火訓練」③見学者・来客者の避難誘導を優先しながら社員の避難を行う「避難・誘導訓練」④消防署への通報、豊田市・JESCO本社へ現状報告を行う「緊急通報訓練」等を行いました。この訓練には豊田市に立ち会っていただきました。

前回の訓練(今年3月)の反省を活かして、今回の訓練は全般的にスムーズに行うことができましたが、各現場の責任者の一部が不明確であったため識別化を図ること等新たに見つかった課題については、早急に検討して次回の訓練に反映させることとしました。



現場指揮訓練の状況



訓練後の訓辞(豊田事業所長から社員へ)

連絡先

日本環境安全事業株式会社(JESCO)

(連絡先) 豊田事業所 0565-25-3110

【豊田事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>